

東アジア文化都市 2020 北九州

基本計画

2019年8月

北九州市は、2018年に国とOECDからSDGs推進のモデル都市に選定されました。工業都市として発展する中で発生した公害を市民と連携して克服した経験は、本市のかけがえのない財産となり、今日の市民力やアジアとの交流、環境国際協力などに繋がっています。

SDGsの達成に向けて取り組むこと。それは、将来にわたって「住みよいまち」を創っていくことにほかなりません。

一方、文化芸術には、人の心を豊かにし、まちを元気にする力があります。人々の創造力を喚起し、地域課題の解決の糸口や可能性を生き生きと示します。また、歌や踊り、工芸や食などの文化は、経済的な発展レベルに関わらず、それぞれの国や地域に豊かに存在し、その振興はSDGsの推進に寄与するものです。

本市は、SDGsの達成による「住みよいまち」を実現するため、文化芸術そのものの向上だけでなく、文化芸術の力を観光や産業にも活かす創造的なまちづくりを進めていきます。この大きな契機とすべく、「東アジア文化都市2020北九州」に取り組みます。

東アジア文化都市2020 北九州実行委員会
会 長 北 橋 健 治

目 次

東アジア文化都市とは	P2
開催趣旨	P3
基本方針	P4
事業スケジュール	P5
事業構成	P6
事業内容	P7
広報	P18
事業体制	P19
実行委員会名簿	P20

東アジア文化都市とは

東アジア文化都市とは

「東アジア文化都市」は、日中韓文化大臣会合での合意に基づき、日本・中国・韓国の3か国において、文化芸術による発展を目指す都市を選定し、その都市において、現代の芸術文化や伝統文化、また多彩な生活文化に関連する様々な文化芸術イベント等を実施するものです。これにより、東アジア域内の相互理解・連帯感の形成を促進するとともに、東アジアの多様な文化の国際発信力の強化を図ることを目指します。

また、東アジア文化都市に選定された都市がその文化的特徴を生かして、文化芸術・クリエイティブ産業・観光の振興を推進することにより、事業実施を契機として継続的に発展することも目的としています。

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
日本	 横浜市	 新潟市	 奈良市	 京都市	 金沢市	 豊島区	 北九州市
中国	泉州市	青島市	寧波市	長沙市	ハルビン市	西安市	揚州市
韓国	光州広域市	清州市	濟州 特別自治道	大邱広域市	釜山広域市	仁川広域市	順天市

東アジア文化都市2020 北九州 開催概要

期間	2020年1～12月（コア期間2020年7～8月、10～11月）
会場	北九州芸術劇場、北九州市立美術館、北九州市立自然史・歴史博物館、 北九州市立文学館、北九州市立松本清張記念館、北九州市漫画ミュージアム ほか 市内各所・各施設 中国・韓国の東アジア文化都市開催市
主催	東アジア文化都市2020 北九州実行委員会、北九州市、文化庁

「創造都市・北九州」へ ～東アジアの響きあう交流を未来へ～

文化芸術の持つ創造性を、地域振興や観光・産業振興等に領域横断的に活用し、地域課題の解決に取り組む都市を「創造都市」と呼び、この試みは現在、世界中の多くの都市で、地域との連携のもとに進められています。本市においても、文化振興計画の中で、文化芸術を地域経済、教育、福祉などに生かし、創造的なまちづくりを進めることを謳っています。

北九州市は、歴史的・地理的にアジアの玄関口として発展し、多くの文化人を輩出する他、多様な文化施設の充実や、先進的な文化芸術に取り組むなど、豊富な文化土壌を有しています。また、公害克服の経験等を生かし、アジア諸都市と国際技術協力や都市間交流を積み重ね、行政はもとより市民の草の根交流を育んできました。

「東アジア文化都市2020 北九州」では、本市を舞台に、東アジアをはじめとする、市民、産業界、多様なアーティストが集い、それぞれの創造性を最大限に引き出しながら交流・協働・融合することで、東アジア域内の相互理解をさらに深めるとともに、新たな価値を生み出し進化させ、平和的発展に貢献することを目指します。同時に、本事業を推進力として「創造都市・北九州」の実現を図っていきます。

事業の目標

「参加」による創造都市の実現

芸産学官+ 市民のオール北九州で取り組み、
文化芸術を通じて**市民のシビックプライド**を醸成します。

「交流」による創造都市の実現

多様な交流を通じて**東アジアとの相互理解**や新たな価値を生み
アートのかによる**インバウンドの促進**など文化観光を振興します。

「発信」による創造都市の実現

北九州発の文化芸術を国内外に効果的に発信し
国内および国際的な評価を獲得します。

東アジア文化都市2020北九州 5つの宣言 = DESIGN宣言！

(事業目標の達成に向けて、重点的に取り組む事業の基本方針)

DISCOVER 宣言
可能性を秘めた北九州の
新たな文化芸術を見つけ出す

【アーティスト・イン・レジデンス事業等】



EDUCTION 宣言
東アジアの文化芸術を
学びあい、次世代へつなぐ

【青少年交流・教育委員会連携事業等】



SYMPHONY 宣言
東アジアの多様な人々と、
文化芸術を通して響きあう

【市民ダイアログ、シンポジウムの開催等】



NETWORKING

INNOVATION 宣言
芸産学官が手を携え
文化芸術による新たな産業を生み出す

【各コア期間事業での先進的取組み等】



GLOBAL 宣言
東アジアの文化芸術を国内外に発信し、
インバウンドを呼び込む

【おもてなし事業・観光振興事業等】



事業スケジュール



事業構成

事業の構成

事業名	実施時期	内容
プレ事業	2019年10月～2020年2月	東アジア文化都市を市民に広く周知し、開催への機運を高めるための、プレイベントや冠事業の開催。
オープニング事業	2020年3～4月	食をテーマとしたイベント等を開催し、東アジア文化都市開幕に向けて機運を醸成する。
開幕式典	2020年3月28日（土）	東アジア文化都市の事業スタートと日中韓3都市による交流の始まりを国内外に向けて発信する開幕式典を開催。
コア期間事業	2020年7月中旬～8月中旬 2020年10月～11月	「夏」と「秋」のシーズンに集中的に文化事業に取り組む「コア期間」を設け、様々なプログラムを展開。
連携事業	2020年4～12月	各種文化芸術事業に東アジア色を取り入れながら連携して事業に取り組む。
市民企画事業 (パートナーシップ事業)	2020年4～12月	多くの市民に創り手として参画していただくための、公募による市民企画事業を実施。
広報連携事業 (フレンドシップ事業)	2020年1～12月	様々な文化芸術事業に対し、ロゴの使用やホームページの掲載等を通じた一体的な広報連携事業を展開。
交流事業	2020年1月～12月	文化芸術を通じて、中国・韓国の開催都市との交流を深め、東アジアの多様な文化に触れるとともに、相互理解・連帯感を深める。
閉幕式典	2020年11～12月（未定）	東アジア文化都市2020北九州の成果を確認し、日中韓3都市による交流を未来へつなぐ閉幕式典を開催。

【参考】日中韓文化大臣会合及び関連事業：2017年開催時の例（開催地：京都市）

事業名	内容
日中韓文化大臣会合	日本、中国、韓国の文化大臣会合の開催。
日中韓芸術祭	日中韓の優れた伝統文化と現在の芸術的発展の成果を紹介することを目的とした芸術祭の開催。
日中韓文化芸術教育フォーラム	日中韓の文化芸術教育に携わる専門家（行政官、研究者等）による国際シンポジウムの開催。
東アジア文化都市サミット	東アジア文化都市の開催都市の首長等が参加し、東アジアにおける都市間文化交流のあり方等について議論するサミットの開催。

プレ事業【2019年10月～2020年2月】

【主な事業】

▶2019北九州国際音楽祭 エモーショナル - 東アジアへのめざめ -

- ・開催時期： 2019年10月6日（日）～11月24日（日）
- ・会場： 北九州市立響ホール、アルモニーサンク北九州ソレイユホール 他
- ・概要： 30年を超える歴史を持つクラシックを中心とした音楽祭。アジアをルーツに世界で活躍する演奏家のコンサートをはじめ、トップレベルのアーティストによる多彩なラインナップで開催します。



▶東田ミュージアムパーク関連事業

- ・開催時期： 2019年10月12日（土）～12月22日（日）
- ・会場： 八幡東区東田地区（北九州市立自然史・歴史博物館、北九州市環境ミュージアム、北九州イノベーションギャラリー）
- ・概要： ①**東田3館連携企画展**
東田地区に集積する3館において、「版画・印刷・紙」を共通テーマとした企画展示に取り組み、東田地区の回遊性の向上を図ります。
 - ・博物館「九州発！棟方志功の旅 掘り起こされた足跡と交流」（10/12～12/1）
 - ・イノベーションギャラリー「印刷展」（仮称）（10/12～12/22）
 - ・環境ミュージアム「紙(古紙→再生紙)に関する企画展」（10/29～12/22）（予定）②**秋のオープンスペースイベント（仮称）**（10/26）
東田3館・美術館・児童文化科学館などによるワークショップや、野外での映画上映、博物館のハロウィン・ナイトミュージアムを開催します。（予定）

▶小倉城新能

- ・開催時期： 2019年10月14日（月・祝）
- ・会場： 小倉城天守閣前広場
- ・概要： 「和」をテーマに小倉城での四季折々のイベントの一つとして新能を開催します。

▶発酵JAPAN in北九州2019秋（仮称）

- ・開催時期： 2019年11月9日（土）～10日（日）（予定）
- ・会場： 船場広場 他
- ・概要： 本市には醤油、日本酒、焼酎や郷土料理であるぬか炊きといった発酵食品等幅広い食品産業が集積しています。こうした地域の食品の魅力を変えて見つめ直し、本地域の食文化の豊かさを発信します。

プレ事業【2019年10月～2020年2月】

▶ 清張生誕110年、ポー生誕210年記念特別企画展「^{エドガー・アラン}E・A・ポーと松本清張」

- ・開催時期：2019年11月15日（金）～2020年3月1日（日）
- ・会場：北九州市立松本清張記念館
- ・概要：推理小説の始祖と言われ、清張にも影響を与えたポーと東アジアで人気の高い松本清張のミステリーの世界を紹介するとともに、両作家の愛用品などの貴重な品々を展示、また、関連イベント等を実施します。

▶ 北九州国際漫画祭2019

- ・開催時期：2019年11月23日（土・祝）～2020年1月19日（日）
- ・会場：北九州市漫画ミュージアム
- ・概要：日韓漫画家による漫画作品や、漫画を通じた国際文化交流について、展示とイベントで紹介するとともに、今年で第4回目を迎える「北九州国際漫画大賞」の優秀作品を展示します。

▶ アジアMANGAサミット北九州大会

- ・開催時期：2019年11月29日（金）～12月1日（日）
- ・会場：北九州国際会議場 等
- ・概要：約10か国・地域から200名を超える漫画家や研究者が集い、国際会議を開催します。1996年からアジア各国で行われており、日本での開催は今回で5回目です。サミット参加者による原画展も開催します。

▶ 北九州ポップカルチャーフェスティバル2019

- ・開催時期：2019年11月30日（土）～12月1日（日）
- ・会場：西日本総合展示場 等
- ・概要：若者層に人気の高い漫画やアニメなど「ポップカルチャー」をテーマとした九州最大級のイベント。人気声優やクリエイターのトークショー、アニソンライブ、ブース展示等、多彩なコンテンツでイベントを盛り上げます。

▶ 合唱組曲「北九州」演奏会

- ・開催時期：2020年2月24日（月・祝）
- ・会場：北九州ソレイユホール
- ・概要：北九州市制15周年を記念して作られ、本市の貴重な文化財産である「合唱組曲『北九州』」の演奏会を開催します。

▶ 城のあかり（仮称）

- ・開催時期：2019年10月（未定）
- ・会場：小倉城庭園

▶ 北九州フィルム・コミッション国際映画祭プレイイベント（仮称）

- ・開催時期：2019年11月（未定）
- ・会場：小倉城歴史の道（予定）など

オープニング事業【2020年3月～4月】

【主な事業】

▶「食」シンポジウム（仮称）

- ・開催時期：2020年3月中旬
- ・会場：リーガロイヤルホテル小倉（予定）
- ・概要：ユネスコ無形文化遺産に登録された「和食」を主テーマに、東アジアの食文化の類似性と日本の独自性、北九州市の食文化について理解を深めます。
また、会場ホテルでシンポジウムとタイアップしたランチなども併せて開催します。

▶プレミアムダイニング「Kitakyushu 一期一会」（仮称）

- ・開催時期：2020年3月19日（木）～20日（金・祝）（予定）
- ・会場：「みかど食堂 by NARISAWA」（門司港駅2階）（予定）
- ・概要：北九州ゆかりの料理人による北九州の食材を使った食のイベント。
国内外から食通を集め、本市の食の魅力を発信します。

▶全国俳句大会in北九州

- ・開催時期：2020年3月（予定）
- ・会場：北九州国際会議場

▶第16回小倉城桜まつり

- ・開催時期：2020年3月28日（土）～29日（日）（予定）
- ・会場：小倉城天守閣前広場（予定）

▶文学館展示リニューアル

- ・開催時期：2020年3月下旬（予定）
- ・会場：北九州市立文学館

など



開幕式典

開催時期：2020年3月28日（土）午後

会場：北九州芸術劇場 大ホール

テーマ：「未来」と「対話」 - Future & Dialog -

コンセプト：人々は「時代」と共に歩み続け、その「記憶」と共に人生を育んできた。過去を俯瞰し、検証し、現代を生きることにより、人々の共有財産は「未来」へ受け継がれる。それは、ささやかな「対話」の積み重ねからしか始まらない。

プログラム

●開幕公演

「書道パフォーマンス」

出演：福岡県立八幡中央高等学校芸術コース書道部

演出：泊篤志



福岡県立八幡中央高等学校芸術コース書道部

●主催者挨拶、開幕宣言

●文化交流公演

東アジア文化都市の開催都市（日中韓）が、それぞれの国を代表する演目を披露。

【日本・北九州市】

2017年に文化庁が認定した日本遺産である関門海峡周辺の地域資源及び門司地区を題材に、日本舞踊、唄、三味線などで構成される新作を上演。舞台美術に小倉織を使用。

タイトル：「門司春秋」(もじしゅんじゅう)

作・演出・振付：藤間蘭黄

作曲：四代目杵屋小三郎(長唄囃子青年楽団清響会・東京芸術大学音楽学部邦楽科学生)

出演：藤間蘭黄（日本舞踊家）

山村友五郎（上方舞・日本舞踊家）

長唄囃子青年楽団清響会

舞台美術素材監修：築城則子

(遊生染織工房主宰)



長唄囃子青年楽団清響会

【中国・韓国】

各都市から派遣される文化使節団

による文化交流公演



響ホール室内合奏団

●開幕記念演奏・合唱

出演：響ホール室内合奏団・市内の少年少女合唱団

総合プロデューサー 柴田英杞



(独)日本芸術文化振興会プログラムディレクター
(公社)全国公立文化施設協会アドバイザー
北九州市顧問

北九州市は、多様性に富んだたくさんの文化資源・地域資源があり、ポテンシャルの高いまちです。この「東アジア文化都市」の事業を市民の皆様と共に推進し、市の魅力を国内外に発信したいと考えています。コンセプトは「未来と対話」。草の根の文化芸術交流を通じて、今よりも将来に目を向けて、対話を継続していく重要性を説いています。文化芸術があらゆる人々を元気にし、まちを活気づかせ、そのことが社会全体の幸せにつながります。「文化芸術に触れて、北九州市に暮らしてよかった」といった感覚を市民が共有・共感できるプロジェクトにしたいと考えています。

夏のコア期間【2020年7月中旬～8月中旬】 オリパラ・ウェルカムプログラム

伝統芸能

「伝統芸能」をテーマに、日中韓の伝統楽器や日本舞踊の創作上演など、国境や世代を超えて楽しめる事業を開催するとともに、海外からの訪問客を日本文化でお迎えする体験型プログラムを実施します。

▶東アジア伝統芸能饗宴（仮称）

- ・開催時期：2020年8月1日（土）
- ・会場：北九州芸術劇場 大ホール
- ・開催内容：日中韓の伝統楽器による新曲の演奏、公募参加等の邦楽演奏家による演奏、公募参加等の日本舞踊家による新曲の創作舞踊（ほか）
（同時開催のわっしょい百万夏まつりと連携（予定））

▶体験ウエルカムプログラム（仮称）

- ・開催時期：2020年夏（予定）
- ・会場：未定
- ・開催内容：海外からの訪日客を対象に、日本の文化を体験できるプログラム（茶道や華道、浴衣等の着付け体験など）を実施します。



部門別ディレクター **藤間 蘭黄**

日本舞踊家



撮影：篠山紀信

開幕式典の文化交流公演では、古代から近現代に至る門司を題材に、和布刈神事、源平合戦や江戸時代の風景から近世の港の繁栄まで、唄と踊りで綴ります。文化芸術には国境がなく、言葉の壁も容易に乗り越えることができます。特に東アジアにおいては、その共通性を顕著に見ることが出来ます。2020年は、伝統芸能が持つ面白さ・素晴らしさを、再認識していただく年にしたいと思っております。

秋のコア期間【2020年10月～11月】 東アジアアートプログラム

ART for SDG s

SDGsのモデル都市として、本市の歩みの中でシンボリックなエリアである八幡東区東田地区を中心に、今後のまちづくりを展望し、SDGsをテーマにした現代アートフェスティバルを開催します。

▶ART for SDG s 2020北九州（仮称）

- ・開催時期：2020年秋（未定）
- ・会場：八幡東区東田地区 他
- ・開催内容：SDGs（=SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS）とは、国連サミットで採択された世界の開発目標です。北九州市は、OECDからアジア地域で初めて「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」に選定されるとともに、国から「SDGs未来都市」に選定されるなど、まちづくりの取組が国内外で高く評価されています。このイベントでは、「自然」と「テクノロジー」をテーマに、現代アート作品により「SDGsの17の目標」を可視化し、市民や来場者とともにSDGsの理解を深め、未来のビジョンを創造します。合わせて国内外に発信することで、誘客とにぎわいづくりにつなげます。



部門別ディレクター 南條 史生 キュレーター



世界の人々が未来に向かって共有する重要な指標となるSDGs。
このイベントでは、自然やテクノロジーを用いた多様なアートを通してSDGsを表現し、SDGsの先進都市である北九州市の皆さんと持続可能な社会の実現に向けて、世界にメッセージを発信したいと考えています。
北九州から日本、そして世界の未来を拓きましょう。

メディア芸術

本市は「北九州市漫画ミュージアム」や「北九州ポップカルチャーフェスティバル」等を中心に、漫画・アニメの魅力を幅広い世代に発信しています。また、「映画の街」として、先駆的に取り組んできた北九州フィルム・コミッションの実績もあります。本市の強みを活かしながら、様々なイベントを開催します。

▶北九州ポップカルチャーフェスティバル2020

- ・開催時期：2020年11月下旬（予定）
- ・会場：西日本総合展示場 等
- ・開催内容：若年層に人気の高いポップカルチャーをテーマとした九州最大級のイベント「北九州ポップカルチャーフェスティバル」を開催し、インバウンドを含む広域からの集客を目指します。



▶GIGA・MANGA展 江戸戯画から近代漫画へ

- ・開催時期：2020年9月19日（土）～11月8日（日）
- ・会場：北九州市立美術館本館
- ・開催内容：江戸から昭和初期（戦前）までの、浮世絵、明治以降の社会風刺画、漫画雑誌などさまざまな出版物に表わされた漫画的表現を検証します。

▶日本のSF・漫画・アニメ・特撮の創造力（仮称）

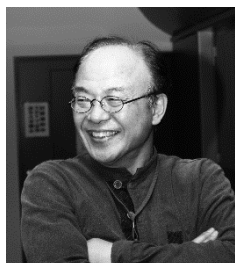
- ・開催時期：2020年10月3日（土）～11月29日（日）
- ・会場：北九州市漫画ミュージアム
- ・開催内容：日本の漫画・アニメ・特撮の全体像と特徴を日本の戦後史との関係性の中で析出。また、将来に希望を抱きにくい現在、日本の漫画・アニメおよび特撮が得意とするSF的手法やモチーフによって“未来”を描くチカラが日本の漫画・アニメ・特撮にあるか否かを問いかけます。（3館連携事業として実施）

▶北九州フィルム・コミッション 国際映画祭（仮称）

- ・開催時期：2020年秋ごろ
- ・会場：市内映画館 等
- ・開催内容：北九州フィルム・コミッションの実績を市民の皆さんと分かち合い、世界に向けて映画の街を発信する映画祭を開催します。映画ファンだけでなく、市民の皆さんが共に楽しんでいただけるよう、日本やアジアのアーティストによる音楽イベントの併催など、エンターテインメント性のある映画の祭典を目指します。

部門別ディレクター 田中時彦

北九州市漫画ミュージアム館長、童画家、漫画家



北九州市のパワーの源は、先人から培われてきたモノづくりの知恵と魂で、これらが人を育み街を造ってきました。日本有数の工業の街に、今や映画や漫画アニメ、ポップカルチャー等といった多様性に富んだ北九州市ならではのメディア芸術が形成され、新しい息吹が芽生えています。東アジア文化都市はこうした独創的文化の魅力を体感していただく、またとない機会です。是非北九州市の新たなパワーを感じてほしいと思います。

文 学

本市が持つ豊かな文芸土壌を活かして、文学による東アジアとの交流を図るとともに、他の芸術分野と連携した事業を展開します。

▶東アジア文学会議（仮称）

- ・開催時期：2020年11月予定
- ・会 場：北九州国際会議場（予定）
- ・開催内容：日中韓の文学者が集うシンポジウム（基調講演、パネルディスカッション等）を開催するとともに、文学を通じた交流を図ります。



▶アートシネマ（仮称）

- ・開催時期：2020年 秋
- ・会 場：市内の映画館 等
- ・開催内容：本市ゆかりの作家の小説を原作とする映画の上映会を開催します。読んでから観るか、観てから読むか、市民の皆さんが文学や映画を楽しみ、本市ゆかりの作家を身近に感じていただく機会となることを目指します。

▶書と文芸（仮称）

- ・開催時期：2020年8月～9月
- ・会 場：北九州市立美術館分館
- ・開催内容：東アジアに共通する「漢字」をテーマに、日中韓の書家等による展覧会を開催します。

▶詩と現代舞踊（仮称）

- ・開催時期：2020年11月予定
- ・会 場：北九州芸術劇場
- ・開催内容：本市ゆかりの作家の文芸作品等をモチーフに現代舞踊を創作し上演します。詩作品と現代舞踊を通して、国を越えた多様な文化芸術の相互理解を図るとともに、本市の文芸・舞台芸術を内外に発信します。



部門別ディレクター **今川 英子**

北九州市立文学館館長



北九州市は、古くから人・もの・情報が集まり交差する街、さらに工業の街として、その活力が地熱となって様々な文化と人を育ててきました。文学とは人間世界の謎解きです。根っこに共通項を持つ東アジアの文芸文化の交流は、言葉の壁を越えて市民の一人ひとりが心で繋がり、未来へ向けての大きな希望となることでしょう。

連携事業【2020年4～12月】〔2019年7月時点〕

▶ 3館連携事業「SF都市北九州：未来を描くチカラ（仮称）」

- ・開催時期：2020年10月3日（土）～11月29日（日）
- ・会場：北九州市立美術館分館、北九州市立文学館、北九州市漫画ミュージアム
- ・概要：①**美術館：サイエンス、フィクション&リアリティ展（仮称）**
人工知能やロボット、VRなどの科学技術を応用した作品、現実の社会問題や生命倫理を問う作品を展示することにより、実在の科学、アートといった多くの領域を横断するSF的な想像力に光を当てます。
- ②**文学館：日本SF 文学クロニクル（仮称）**
本展は日本における「SF的想像力」の歴史を追います。神話や古典の時代、明治前後から戦後までの「古典SF」から、1950～70年代におけるSFの「誕生」と発展を概観し、現代までのSF史を紹介します。
- ③**漫画ミュージアム：日本のSF・漫画・アニメ・特撮の創造力（仮称）**
【再掲】

▶ 2020北九州国際音楽祭

- ・開催時期：2020年10～11月（予定）
- ・会場：北九州市立響ホール、アルモニーサンク北九州ソレイユホール 他
- ・概要：東アジア文化都市2020北九州の開催を記念し、本音楽祭の広域発信、知名度向上にもつながるメイン企画のほか、国内外のトップアーティストによるラインナップを予定しています。

▶ 北九州市障害者芸術祭

- ・開催時期：2020年11月下旬～12月上旬
- ・会場：ウェルとばた、北九州市立美術館黒崎市民ギャラリー
- ・概要：①**ステージプログラム**
障害のある人を中心とした音楽・ダンスなどのステージイベントを開催します。障害の有無を超え、様々なコラボレーションで生まれる新しいアートを発信します。
- ②**作品展** 障害のある人によるアート作品の展示会を開催します。

▶ 北九州国際漫画祭2020

- ・開催時期：2020年12月19日（土）～2021年1月24日（日）
- ・会場：北九州市漫画ミュージアム
- ・概要：漫画を通じた国際文化交流について、展示とイベントで紹介するとともに、第5回を迎える「北九州国際漫画大賞」の優秀作品を展示します。

その他、連携事業として様々なプログラムを開催します。

▶ 北九州芸術祭

- ・開催時期：2020年4月～
- ・会場：市内各所

▶ 西日本陶磁器フェスタ

- ・開催時期：2020年9月（予定）
- ・会場：西日本総合展示場 など

▶ 北九州将棋フェスティバル

- ・開催時期：2020年9月（予定）
- ・会場：北九州国際会議場

市民企画事業（パートナーシップ事業）【2020年4～12月】

多くの市民が創り手として参加する機会を設けて、東アジア文化都市の開催を盛り上げるため、市民による企画事業「パートナーシップ事業」を実施します。

パートナーシップ事業は「東アジア文化都市発信プログラム」と「東アジア文化都市参加プログラム」の2つの区分を設けて、公募を行います。

● 公募事業の概要（助成額、件数）

① 東アジア文化都市発信プログラム

助成額：補助対象経費の2/3以内（限度額 300 万円以内）

採択件数：5 件程度

② 東アジア文化都市参加プログラム

助成額：補助対象経費の2/3以内（限度額 30 万円以内）

採択件数：50 件程度

● 要件

以下の2点をいずれも満たす事業

- ・ 2020年4月1日から2020年12月31日までに北九州市内で実施される文化芸術事業
- ・ 東アジア文化都市 2020北九州の基本方針（5つの宣言）のいずれかに合致する文化芸術事業

「①東アジア文化都市発信プログラム」については、

上記と合わせ下記の2点を満たす事業

- ・ 東アジアとの相互理解に資する文化芸術事業
- ・ 多くの集客が見込まれ本市が誇る文化を国内外に発信する文化芸術事業

● 募集期間

2019年9月2日から10月7日まで

広報連携事業（フレンドシップ事業）【2020年1～12月】

東アジア文化都市2020 北九州の期間中に開催される様々な文化芸術事業に対し、ロゴの使用やホームページの掲載等を通じた一体的な広報連携事業（フレンドシップ事業）を展開します。

交流事業【2020年1～12月】

文化芸術を通じて中国・韓国の開催都市との交流を深め、東アジアの多様な文化に触れるとともに、相互理解・連帯感を深めます。また、青少年の開催都市間の相互派遣を行い、各都市の生活や文化を体感することで、文化の多様性への理解や視野の広い人材育成を図り、継続的な友好関係を築きます。

中国・韓国の開催都市が決定次第、3都市での協議により、具体的な交流事業を決定します。

▶ 主な予定事業

- ・ 青少年交流 ・ アーティスト交流
- ・ 中国・韓国開催都市の開闭幕式典・閉幕式典への芸能団派遣 など

閉幕式典【2020年11～12月・未定】

東アジア文化都市2020北九州の成果を確認し、日中韓3都市による交流を未来へつなぐ閉幕式典を開催します。

▶ 閉幕式典

- ・ 開催時期：2020年11～12月（未定）
- ・ 会場：北九州芸術劇場 大ホール（予定）
- ・ 開催内容：日中韓3都市による文化交流公演、閉幕宣言 など

日中韓文化大臣会合及び関連事業【国主催事業】

日本の東アジア文化都市開催都市である北九州市で2020年の日中韓文化大臣会合の開催が予定されています。

日中韓文化大臣会合とあわせ、日中韓芸術祭など併催事業が予定されています。（開催時期未定）

【2017年開催時の事業例（開催都市：京都市）】

▶ 日中韓文化大臣会合

文化大臣会合により、翌年の「東アジア文化都市」の開催3都市が正式に決定します。

▶ 日中韓芸術祭

3カ国の優れた伝統文化を現在の芸術的発展の成果を紹介することを目的とした芸術祭の開催。

▶ 日中韓文化芸術教育フォーラム

3カ国の文化芸術教育に携わる専門家（行政官、研究者等）による国際シンポジウムの開催。

▶ 東アジア文化都市サミット

いままでの東アジア文化都市開催都市の首長等が参加し、「東アジア文化都市」事業の成果を共有するとともに、今後の東アジアにおける都市間文化交流のあり方等について議論する都市サミットの開催。

ロゴマーク

東アジア文化都市2020北九州の開催を市民の方々にPRし、機運を盛り上げていくため、公式ロゴマークの市民投票を実施し、約13,000人の投票により決定しました。

【投票期間：2019年6月15日～7月16日】



<コンセプト>

左側は「小倉織」をイメージした北九州市の頭文字「K」を、右側は3色の三角形を組み合わせ、日本・中国・韓国の文化の広がりや人々の交流を表現しています。あらゆる方向へのつながりを、ゆるやかに結び合わせ、まとめるイメージです。

広報計画

市民をはじめ、国内外から多くの方々に「東アジア文化都市2020北九州」へ参加していただき、まち全体が盛り上がるよう、3つの方針に基づき、広報活動を展開します。

① 「統一感」のある広報活動

ロゴマークを軸とした統一的なビジュアルによる屋外広告を展開します。
市有施設のみならず、まちなかや商業施設等の集客（PR）が見込める施設において、様々なツールを用いて積極的に広報を行います。

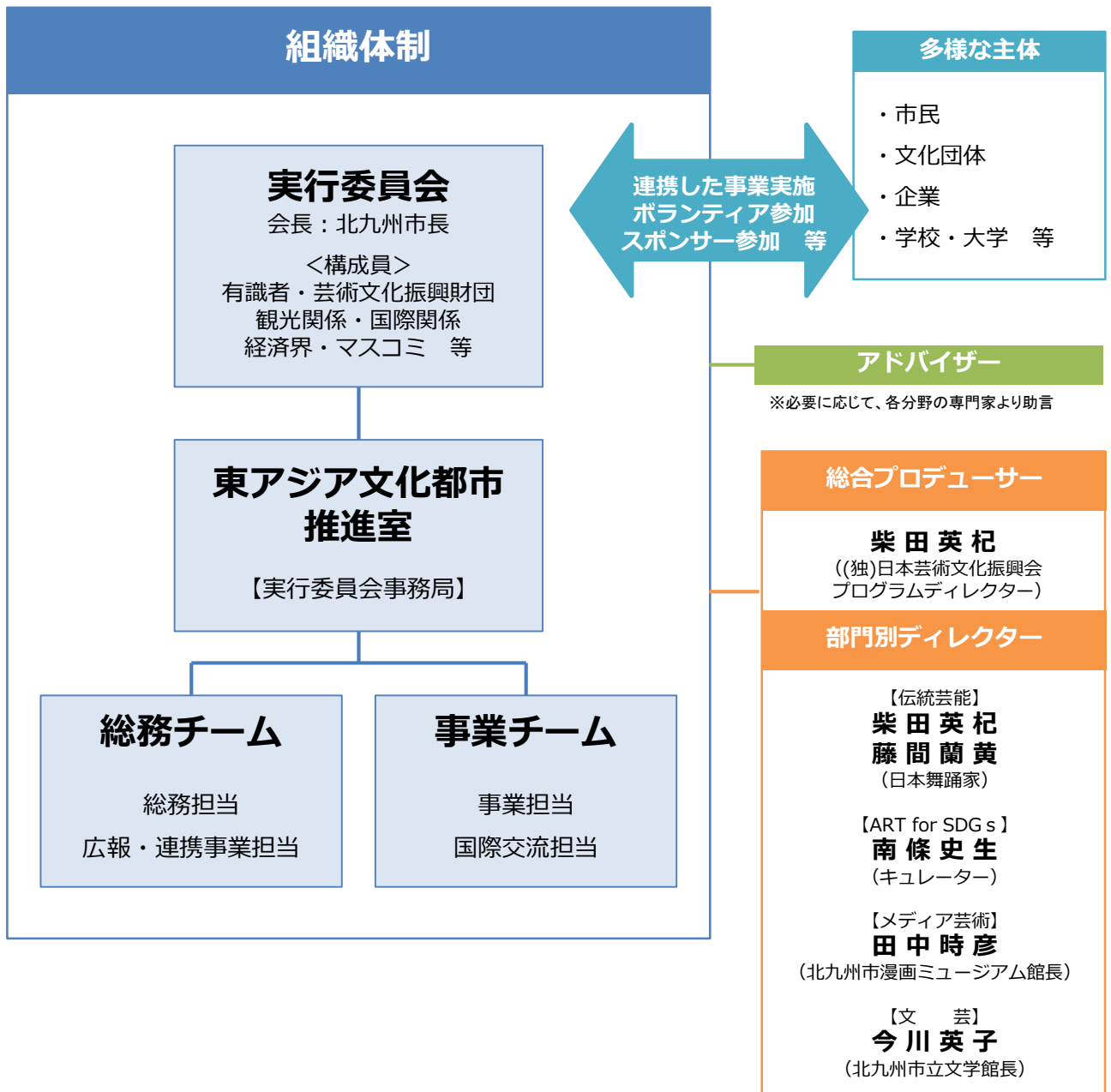
② 「連帯感」のある広報活動

開幕式典をスタートに、閉幕式典を未来へのスタートとして位置付け、その間の各種事業を「点」ではなく「線」でつなげていくことで、広報の強化を図ります。
各種事業の「東アジア文化都市2020北九州」における位置付けを踏まえた広報に努め、メディアとタイアップしたシリーズ企画などに取り組みます。

③ 「市民参加型」の広報活動

アクセシビリティを高めた公式ホームページにより情報提供を行うとともに、市民が自由に対話できるプラットフォームである公式SNSを運用します。
また、市民に向けて本事業の開催と開催意義を広く発信するため市民ダイアログ（市民対話）を開催します。

2019年度は市民向けを中心とした広報を行い、「東アジア文化都市2020北九州」の認知拡大と開幕に向けた機運の醸成に努めます。また、2020年度は、「夏のコア期間」及び「秋のコア期間」への集客を目指し、積極的に国内外に情報発信を行います。



実行委員会スケジュール

回	開催時期	主な議題
第1回	2019年3月27日	基本構想、2019年度予算
第2回	2019年8月6日	基本計画
第3回	2019年12月	実施計画
第4回	2020年5月	2019年度決算、2020年度予算
第5回	2021年5月	2020年度決算

実行委員会名簿

2019.8.6現在

※分野別50音順

区分	氏名	所属・役職等
北九州市 アーツ ディレクター	井生 定巳	北九州文化連盟会長
	今川 英子	北九州市立文学館長
	後藤みな子	(一社) 北九州文学協会理事長
	○近藤 倫明	北九州市立大学特任教授
	柴田 英杞	(独) 日本芸術文化振興会プログラムディレクター
芸術文化	上田恭一郎	北九州市立自然史・歴史博物館長
	柴田 泰博	(公財) 北九州市身体障害者福祉協会理事長
	城水 悦子	門司港美術工芸研究所理事長
	柴田 邦江	(公財) 北九州市芸術文化振興財団専務理事
	田中 時彦	北九州市漫画ミュージアム館長
	民谷 陽子	北九州市民劇場実行委員会事務局長
	西村 勇晴	北九州市立美術館長
経 済	利島 康司	北九州商工会議所会頭
	野上 裕貴	(一社) 北九州青年会議所理事長
	藤田 拓之	(一社) 北九州青年経営者会議会長
国 際	高城 壽雄	(公財) 北九州国際交流協会理事長
	堀内 光子	(公財) アジア女性交流・研究フォーラム理事長
観光 ・ 交通 ・ まちづくり	井上 龍子	北九州市東田地区ミュージアムパーク創造事業コーディネーター
	柏木 康彦	(公財) 北九州観光コンベンション協会専務理事
	田中亮一郎	北九州タクシー協会会長
	濱村 美和	(公財) 日本賃貸住宅管理協会副会長
	吉水 請子	北九州市女性活躍・WLB推進幹事会委員
マスコミ ・ 学識経験者	大曾根聡子	NHK北九州放送局長
	大島 まな	九州女子大学人間科学部教授
	田部井世志子	北九州市立大学文学部教授
学 生	木村 紗彩	北九州若者会議代表
	小林 宙夢	北九州若者会議理事
福岡県	山田 信吾	福岡県人づくり・県民生活部長
北九州市	◎北橋 健治	北九州市長
	久保山雅彦	北九州市市民文化スポーツ局長
監 事	石井 佳子	北九州市会計室長
	羽田野隆士	北九州商工会議所専務理事

◎ : 会長 ○ : 副会長



東アジア文化都市2020北九州実行委員会
北九州市小倉北区城内1番1号 TEL:093-582-2390
(北九州市市民文化スポーツ局東アジア文化都市推進室内)